

#### Q 4 (府道野崎停車場線の周辺環境に配慮した整備)

- 次に、無電柱化に合わせて歩道整備されることと聞いている府道野崎停車場線について伺います。  
この事業も平成31年3月議会都市住宅常任委員会で質問致しました事業です。この時の答弁で無電化に向けて検討してまいるとの答弁を頂き、現在、無電化と歩道整備の為、測量に入っています。
- この路線は、JR野崎駅から野崎観音に続く参道であり、毎年5月に開催される野崎参りは、大勢の人で賑わう大東の名物イベントとなっており、大東市や地元商店街において、大変、盛り上がりを見せています。
- 周辺には、戦国時代の天下人、三好長慶<sup>みよしながよし</sup>の居城であった飯盛城跡<sup>いもりじょうあと</sup>があり、今年の10月11日に、大東市、四條畷市で初めての国史跡として指定されました。
- 私自身、この史跡について、国史跡<sup>くにしせき</sup>に指定されるよう、粘り強く府教育庁に働きかけてきたこともあり、指定された際は、感慨無量であり市や市民の皆様と喜び合いました。
- この国史跡指定を契機として、郷土への誇りをもってもらえるよう、魅力あるまちづくりを進めることが大変重要であり、その野崎駅参道を含む府道野崎停車場線の整備は市のみならず府の街づくりにも重要だと考えています。
- さらに来年は三好長慶公の生誕500年でもあり、飯盛城跡の史跡指定と合わせて、ますます、この地域に多くの方々が訪れることが予想され、地域の活性化にも繋がるものと考えている。
- このため、府道野崎停車場線の歩道整備については、野崎参りや、飯盛城跡の国史跡の取組みともしっかり連携し、歴史・文化に溢れる周辺環境に配慮した整備を大東市や地元地域とともに進めていただきたいと思いますが、道路環境課長に伺います。

#### A 4（道路環境課長答弁）

- 府道野崎停車場線については、無電柱化に合わせた歩道整備により、歩道のバリアフリー化や、電線や電柱を無くす電線類の地中化により、快適な歩行空間が創出されることに加えて景観の向上が図られるものとする。
- 委員お示しの国史跡に指定された飯盛城跡<sup>いいもりじょうあと</sup>は、今後、大東市と四條畷市が、保存・活用の考え方や、具体的な取組の内容を位置付ける「保存活用計画」を策定するとともに、周辺整備や、まちづくりを進めて行くことと聞いている。
- 今後、大東市における飯盛城跡保存活用計画や、周辺整備及びまちづくりの動向を注視するとともに、歩道の検討を進める際には、周辺環境に配慮した歩道舗装や、街路樹、照明灯などの整備について、大東市や、地元商店街等の意見を聞きながら、緊密に連携し取組んでいく。